

令和5年4月28日

新潟市議会議長 古泉 幸一 様

会 派 名 翔 政 会

議 員 名 皆 川 英 二

令和4年度政務活動費収支報告書

新潟市議会政務活動費の交付に関する条例第9条に基づき、令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入 (単位 円)

	金 額	備 考
政務活動費	1,440,000	@120,000×12月

2 支 出 (単位 円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費	113,517	別紙のとおり
研 修 費		
広 報 費	389,550	別紙のとおり
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費	105,408	別紙のとおり
人 件 費		
事務所費		
合 計	608,475	

3 残 額 831,525円

様式7

支出伝票一覧表

会派名	翔 政 会		皆川 英二		
支出年度	令和4年度	支出項目	調査研究費	No. 1	
整理番号	支出年月日	支出内容		支出金額	備考
1	令和4年7月15日	行政視察(熊本市)		76,930 円	
2	令和4年8月29日	行政視察(世田谷区)		33,915 円	
3	令和5年3月31日	市政調査会会費		2,672 円	
4				円	
5				円	
6				円	
7				円	
8				円	
9				円	
10				円	
11				円	
12				円	
13				円	
14				円	
15				円	
16				円	
17				円	
18				円	
19				円	
20				円	
計				113,517 円	

※ 支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和4年度	整理番号 (項目別)	1
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和4年5月17日 から 令和4年5月18日		
支出年月日	令和4年7月15日		
支 出 金 額	76,930円		
支 出 先	新潟交通株式会社		
使 途 内 容	行政視察 (熊本市)		
備 考	振込手数料 (¥330) 含む、 XXXXXXXXXX 除く		

領収書貼付欄

第四北越銀行

お取引明細票

お取扱日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容	
04-07-15	281	24	N				159	振込	
万円	5千円	2千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円
8			3						
お取引金額							振込手数料	お取引後元振残高	
¥82,600							¥330	円	
ご案内		* お振込明細 *			0C0159				
お振込先		XXXXXXXXXX			15:22				
ご依頼人		ニカ*タコウツウ.カ ハンパ*イスシツカ*カリ ホシ 様			印紙税申告納付につき新潟 税務署承認済				
		ミナカ*ワ イシ* 様							
		TEL XXXXXXXXXX							
		おつり ¥70							

毎度ご利用いただきありがとうございます。お取引の明細は上記のとおりでございます。
 ●ご利用のお客様へ ■印紙税納付の必要がない場合は ↑
 ○ご利用の日および時間により当行所定の手数料(含消費税)を手数料図説のとおり *印で消しております。
 お支払いいただいております。 裏面のご案内をあわせてご覧ください。
 ○ただしキャッシングサービスの場合は、ご利用日の決済日にお取引口座からお支払い
 いただきます。

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

NO 532832

令和4年6月30日

皆川 英二 様

2022年5月17日(火)~18日(水)

熊本 都市緑化フェア

1名様

新潟交通株式会社
 旅行部 販売推進係
 Tel 025-246-636
 担当

ご旅行費用請求書

基本費用	単価	数量	金額	摘要
航空券代	54,600	1	54,600	新潟~伊丹~熊本(往復・4区間)
宿泊代(1泊朝食)	11,500	1	11,500	ダイワロイネット熊本
現地交通費(2日間)	9,500	1	9,500	マイクロバス借り上げ
				85,500/9=9,500
視察先入場料	500	1	500	熊本市動植物公園
視察先土産代			500	4,500/9=500
小 計			76,600	
その他	単価	数量	金額	摘要
合計金額			82,600	
支払総額			¥82,600	

この度はご利用いただき誠にありがとうございました。
 上記の通りご精算申し上げます。よろしくお願い致します。

◆振込口座: XXXXXXXXXX
 新潟交通株式会社販売推進係

令和4年5月17日(火)～18日(水) 行政視察日程

月 日	行 程
5月17日 (火)	<p>新潟空港 ⇒NH1658⇒ 伊丹空港 ⇒NH1625⇒ 熊本空港 8:10 9:20～10:50 12:05～12:20</p> <p>－ ダイワロイネット熊本（宿泊用荷物フロント預け）－ サクラマチクマモト 13:00 頃 (270m 徒歩 4 分程度またはバス)</p> <p>サクラマチクマモト (複合施設「サクラマチクマモト」について) 13:30～15:00</p> <p>花とみどりの博覧会 (街なかエリア) 15:10～16:10</p> <p>■熊本市内宿泊：ダイワロイネット熊本 TEL0570-08-1050</p>
5月18日 (水)	<p>ホテル － 熊本市動植物園前 9:30 9:50</p> <p>花とみどりの博覧会 (水辺エリア) 10:00～11:30</p> <p>熊本市動植物園前 － 熊本市内 (昼食休憩) …徒歩またはバス… 熊本市議会 11:35 11:55～12:45 300m4分程度 12:50</p> <p>熊本市議会 (全国都市緑化くまもとフェア「くまもと花とみどりの博覧会」について) 13:00～14:00</p> <p>熊本市議会 － 熊本空港 ⇒NH1628⇒ 伊丹空港 ⇒NH1661⇒ 新潟空港 14:10 14:50～15:40 16:55～17:25 18:30</p> <p>◆議会より空港まで 18 km 所要 40 分程度</p>

参加者：9名

様式17 (議員用)

視察 (出張) 報告書

令和4年5月20日

新潟市議会議長 様

氏名 皆川 英二

下記のとおり、視察 (出張) が終了したので報告します。

視察議員	(翔政会) 皆川 英二、荒井 宏幸、田村 要介、東村 里恵子、 (民主にいがた) 宇野 耕哉、高橋 聡子 (新潟市公明党) 松下 和子、志賀 泰雄 (無所属) 深谷 成信
期 間	令和4年5月17日 (火) ~ 令和4年5月18日 (水)
視 察 先	熊本市
視 察 用 務	①複合施設「サクラマチクマモト」について ②全国都市緑化フェア「くまもと花とみどりの博覧会」について
視察先面会者	別紙のとおり
概要及び所見	別紙のとおり

熊本県行政視察報告書

- 視察日程 令和4年5月17日(火)～5月18日(水)
- 視察地 熊本市
- 調査事項 1. 複合施設「サクラマチクマモト」について
2. 全国都市緑化くまもとフェア「くまもと花とみどりの博覧会」について

調査事項1. サクラマチクマモトについて(5月17日)

- 説明者 熊本市都市建設局 都市政策部市街地整備課 課長 上野 勝治氏
都市政策部市街地整備課 技術主幹 渡邊 枢氏
熊本城ホールホールマネージャー ████████氏

(1) 視察目的

「サクラマチクマモト」は、2019年4月にオープンした複合施設。下層はバス事業者が利用する全国有数のバスターミナルであり、そこにホテル、ホール、商業テナント、住居、屋上公園などが入る超大型複合施設である。総工費は790億円。

現在、本市でも駅南バスタが計画されており、規模の大小はあるが、その施設に直接触れることと、特にその事業スキームを学ぶことを目的とした。

(2) 施設概要

建築名称：サクラマチクマモト（桜町地区第1種市街地再開発事業）

事業主：熊本桜町再開発株式会社

所在地：熊本市中央区桜町3丁目10番ほか

都市計画：日建設計

設計：日建設計・太宏設計事務所共同企業体

施工：大成・吉永・岩永・三津野・新規建設共同企業体

用途：商業施設／ホテル／共同住宅／劇場・ホール／バスターミナル／映画館／
保育所／バンケット／オフィス／駐車場

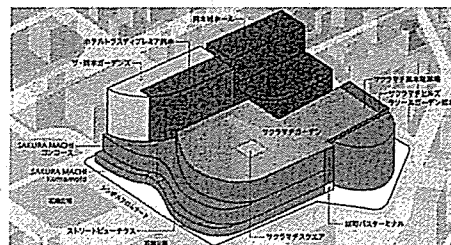
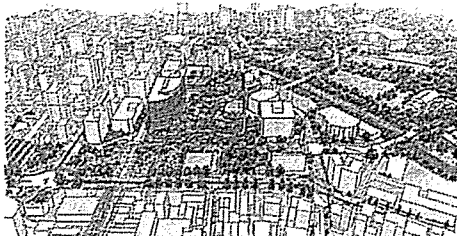
敷地面積：約30,200m²

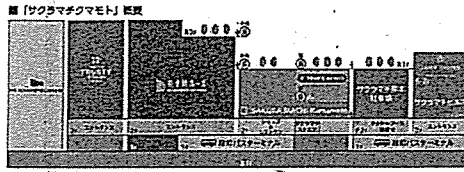
延床面積：約164,100m²

構造：S、RC、SRC

階数：地下1階、地上15階建て

工期：2017年1月～19年9月





(3) 施設開設の経緯および開設後の管理運営

1969年に建設されたバスターミナルである「熊本交通センター」を含む桜町・花畑町一帯の市街地再開発事業により建設された複合施設である。熊本桜町再開発準備会社が事業主となり、施設運営は九州産交ランドマークが担当する。

2015年に解体着手。

2019年に商業施設開業、隣接する熊本産業文化会館跡地は「花畑公園」となっている。

(4) 複合施設開設の効果

熊本地震（2016年）コロナ禍をくぐりぬけての開業となったが、熊本城を中心とする観光都市を補完する超大型商業施設開業の相乗効果は大きいものとなっている。

今回の視察もここを会場のひとつとする「全国都市緑化フェア」の開催場所となっており、コロナ禍にもかかわらず多くの観光客で賑わいを見せていた。施設のなかにはシネコンや熊本城ホール、などの集客施設もあり、県内外から誘客できる日本を代表する複合施設となっている。

(5) 今後の展開、課題

開業後にコロナ禍に見舞われ、全てが順調というわけではないようであるが、アフターコロナを見据え、特に国内外からの「観光」をターゲットにより魅力ある施設への磨きをかけていきたいとのこと。

「熊本」全体の活性化のシンボル、拠点として官民連携で取り組んでいきたいとの抱負を述べられていた。



(6) 所見

熊本城と庭つづきの屋上庭園を中心とした「まち」の再生と日本最大級のバスターミナルの再整備を中心に商業・文化・宿泊・住居機能を複合した大型複合施設として再開発されたとのことである。

1階のバスターミナルの安全性と快適性。

2階の各施設を横断するコンコース。

7階の熊本城と繋がる地上30mの屋上庭園、そしてホテル、熊本城ホール等機能的で素晴らしい景観を兼備した他に類をみない施設。

その市民に寄り添った素晴らしい施設に直接触れる事で、この計画の本質が肌で感じ取れました。

官民一体となって大規模な市街地再開発事業として、成し得た熊本市の底力には心から拍手を送りたいと思いつつ、本市の新潟2kmに生かせるものがないかと考えるところです。

調査事項2： 全国都市緑化くまもとフェアについて（5月17日・18日）

○説明者 くまもとフェア実行委員会事務局 西 章 事務局次長

（1）概要

名称は「第38回全国都市緑化くまもとフェア」。愛称は「くまもと花とみどりの博覧会 ～THE GREEN VISION 未来への伝言～」。

開催テーマは「森と水の都くまもとで 花と生きる幸せをつむごう」。ここには、5年前の熊本地震の時に全国から多くの応援メッセージをいただいたことへのお礼、感謝のメッセージを全国の皆さんにむけた思いが込められている。

基本理念は3つあり、1つ目は「“森の都”の魅力再発見と“森と水の都”の発信」であり、恵まれた自然環境を活かした取り組み、新たな緑のまちづくりの展開により、緑の魅力について再発見いただく機会としている。2つ目は「熊本地震への支援に対する感謝と復興のメッセージ」であり、県内のすべてに市町村と連携し、震災からの力強い復興と多くの支援に対する感謝のメッセージを全国に発信している。3つ目は「未来への誓い ～未来へつなぐ、つなげる～」であり、多様な主体が参加する取り組み（参加型）の展開によって、新たな担い手の育成、花と緑を愛でる心の育成、豊かな心の育成につないでいる。

主催団体は、提唱が国土交通省。主催者が熊本市、公益財団法人都市緑化機構。事業主体が第38回全国都市緑化くまもとフェア実行委員会であり、県内全45市町村がパートナー会場となっている。

イメージキャラクターは「くまモン」。フラワーアンバサダーには、新進気鋭のフラワーアーティストであるニコライ・バーグマンを、広報演出アドバイザーには、放送作家・脚本家の小山薫堂を起用。彼らは行政では成し得ない切り口でフェアを仕上げてくれた。

開催期間は、令和4（2022）年3月19日（土）～5月22日（日）計65日間。まん延防止等重点措置の期間中に始まった。

会場は、メイン会場とパートナー会場が設置された。メイン会場は3つのエリアで開催された。

1つ目は、街なかエリアで熊本城公園及び花畑広場一帯。2つ目は、水辺エリアで水前寺江津湖公園一帯（水前寺地区～広木地区、動植物園含む）。3つ目は、まち山（立田山）エリアで立田山と回遊できるように設定されている。パートナー会場は、県内すべての市町村（45市町村）に設置され、市内各地の地域資源（託麻三山、八景水谷、金峰山、雁回山）、交通拠点（駅、空港）等も活かしながらの展開となっている。

入場料は、無料を基本としている。但し、熊本城や動植物園など有料施設は、既存の課金体系としている。パートナー会場は、会場運営主体が定める入場料等の課金体系に準じることとしている。

目標来場者数は、3つのメイン会場の合計で、160万人以上を目標としている。コロナ禍で県外からの積極的な誘客は控えめにし、県内を中心に誘客を行っている。通常2～3割は県外からの来場者となるが、今回は1.5割程度の割合である。また飲食系の出店も控えている。（最終的に熊本市より来場者数は目標を上回る延べ168万5千人であったと発表があった。）

(2) 所見

今回の緑化フェアの大きな特色は、「街なかエリア」「水辺エリア」「まち山（立田山）エリア」の3ヶ所を会場として開催したことです。

過去に横浜市の2会場がありましたが、3会場は初めてになります。

特に「水辺エリア」会場に於いては、地元高等学校の出展が目についたことです。

若いうちから熊本の特徴を知り、将来に向けてどのようにして自然と共存出来る街づくりをするための試金石になっているように感じられた。

又、今回の来場者の目標は、65日間の開催期間中に160万人程を予定していたが、コロナ禍での開催になり、県外へのアピールを控えざるを得なかったため、前回の広島同様に県内在住の人のための開催になった。

緑化フェアが終点ではなく、スタート点とし、緑を含め緑化（花みどり）に関心を持ってもらうための手段と考え、一過性のものにせず、真に純粋な目的として開催出来たのでは。

会場の内容について感じた事は、期間終了時に撤去されるものが多く、少し残念に思われた。

出来たら恒久的な花みどりを多くして、後々のまちづくりに活用出来たら、更に夢の持てる緑化フェアになるのではと感じられた。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	2
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和4年8月17日 から 令和4年8月18日		
支出年月日	令和4年8月29日		
支出金額	33,915円		
支 出 先	名鉄観光サービス 株式会社		
使 途 内 容	行政視察 (世田谷区)		
備 考	振込手数料 (¥660) 含む		

領収書貼付欄

お取引明細票

お取引日	04-08-29	取扱店	281	号機	24	NB	N	銀行番号	口座店	口座番号	通番	103	お取引内容	振 込
万円	5千円	2千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円	お取引金額	振込手数料	お取引後元帳残高		
4										¥33,255	¥660			

ご案内 * お振込明細 * 0C0103

お振込先

11:39

ご依頼人 メイツカンコウサービス(カ 様
 ミナカワ イシ 様
 TEL

おつり ¥6,085

印紙税申告納付につき新潟県事務承継済

毎度ご利用いただきありがとうございます。お取引の明細は上記のとおりでございます。
 ■印紙税納付の必要がない場合は ↑

●ご利用のお客様へ *印で消してあります。
 ○ご利用の日および時間により当行所定の手数料(含消費税)を手数料欄記載のとおり
 お支払いいただいております。 裏面のご案内をあわせてご覧ください。
 ○ただしキャッシングサービスの場合は、ご利用額の決済日にお取引口座からお支払い
 いただきます。

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

951-8550
新潟県新潟市中央区学校町通1-602-1

皆川 英二 様


請求書


発行日 2022年08月16日
 予約番号 EB-011473
 請求番号 EB-00011949
 名鉄観光サービス株式会社
 新潟支店
 〒950-0916
 新潟県新潟市中央区米山4丁目1番地3号
 米山Nビルディング
 TEL:025-245-8331 FAX:025-245-8333

ご請求額 ¥33,255.-

毎度お引立ていただきありがとうございます。
 下記の通りご請求申し上げます。

内容 新潟市議会様/東京


責任者


担当者


利用日	項目名	内容	単位	単価	数量	金額
22/08/17	視察代金			33,255	1	33,255
		◎10%対象				(33,255)

お振り込みは、下記口座へ2022年08月30日までをお願いします。
 振込手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。

合計	(A)	33,255
ご入金済額	(B)	0
今回請求額	(A)-(B)	33,255

振込先

 メイツカンコウサービス (カ)

備考

951-8550
新潟県新潟市中央区学校町通1-602-1

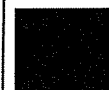
皆川 英二 様

明細書

発行日 2022年08月16日
予約番号 EB-011473

名鉄観光サービス株式会社
新潟支店
〒950-0916
新潟県新潟市中央区米山4丁目1番23号
米山Nビルディング
TEL:025-245-8331 FAX:025-245-8333

担当者



内容 新潟市議会様/東京

利用日	項目名	内容	単位	単価	数量	金額
22/08/17	J R運賃	新潟から東京		5,720	1	5,720
22/08/17	J R料金	新幹線指定席		5,440	1	5,440
22/08/18	J R運賃	東京から新潟		5,720	1	5,720
22/08/18	J R料金	新幹線指定席		5,440	1	5,440
22/08/17	宿泊代金	1泊朝食税込		10,935	1	10,935
合 計						33,255

令和4年8月17日(水)～18日(木) 少子高齢化対策協議・男女共同参画意識連視察行程表

月 日	行 程				視察先
8月17日	JR新幹線とき310号 JR新潟駅 8:26発(燕三条8:38発)	JR中央線 JR東京駅 10:28着(昼食)	小田急線 JR新宿駅 着 発	小田急線 経堂駅 着 発	●子どもの人権擁護機関・せたはつと 〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-15-15 世田谷区立子ども子育て総合センター3階 TEL:03-3439-8415 ●宿泊先 英谷東郡ホテル 東京都世田谷区宇田川町3-1 TEL:03-3476-0111
	徒歩5分 子どもの人権擁護機関・せたはつと 視察 13:30～15:00 ホテル 着	徒歩5分 経堂駅 着 発	JR山手線 JR新宿駅 着 発	徒歩6分 JR渋谷駅 着 発	
8月18日	徒歩6分 ホテル発 8:45ロビー集会	京王線 JR渋谷駅	タクシーで移動 タクシーで移動	タクシーで移動 世田谷区立桜丘中学校 9:30～11:00 徒歩5分 子ども家庭庁・子ども基本法研修 13:30～14:30	●世田谷区立桜丘中学校 〒156-0054 世田谷区桜丘2-4-39 TEL:03-3423-6203 ●子ども家庭庁・子ども基本法研修 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館
	小田急線 経堂駅	徒歩5分 国会議事堂前	JR新幹線とき331号 JR東京駅 16:16発		
参加者	議員12名(金派順)				水澤 仁 議員、皆川 英二 議員、荒井 忍 議員、伊藤 雄太郎 議員、小野 照子 議員、 (燕三条駅より) (新潟のみ) 栗村 里恵子 議員、細野 弘康 議員、高橋 聡子 議員、小山 進 議員 松下 和子 議員、内山 幸起 議員、石附 幸子 議員 (燕三条駅より)

視察（出張）報告書

令和4年8月31日

新潟市議会議長 様

氏名 皆川 英二

下記のとおり、視察（出張）が終了したので報告します。

視察議員	水澤仁、皆川英二、荒井宏幸、伊藤健太郎、小野照子、東村里恵子、 細野弘康、高橋聡子、小山進、松下和子、内山幸紀、石附幸子
期 間	令和4年8月17日（水）～ 令和4年8月18日（木）
視 察 先	別紙のとおり
視 察 用 務	別紙のとおり
視察先面会者	別紙のとおり
概要及び所見	別紙のとおり

新潟市議会少子高齢化対策議連・男女共同参画議員連盟行政視察概要

【世田谷区】

- ◇ 視察日時 令和4年8月17日(水) 午後1時30分～午後3時
- ◇ 視察事項 「子どもの人権擁護機関・せたホッと」について
- ◇ 視察会場 世田谷区立子ども・子育て総合センター3階
東京都世田谷区宮坂3-15-15
- ◇ 面会者 世田谷区 子ども・若者部 子ども・若者支援課 嶋津 武則 課長 他
- ◇ 視察概要

(1) 事業の創設経緯

世田谷区では、都内初となる「子ども条例」を平成14年に施行した。平成17年には子ども計画、教育ビジョンを策定し、子どもの尊厳、権利の尊重に向けた取り組みを進め、支援や教育相談といった子どもからの相談窓口の充実を図ってきた。

子どものいじめ、不登校、子どもの貧困など子どもに関する問題が年々複雑深刻化してきていたことに加え、児童虐待の相談件数が全国的にも増加してきている傾向を踏まえ、子どもの権利に関する取り組みを一層進めて行くこととなり、平成23年に区立小及び中学生を対象に「子どもの生活と人権意識」に関する調査を実施。この調査結果から、家庭や学校での居場所がなく孤立性が高いことや、誰かに相談するという回答が少なく、自己肯定感が低い傾向が見られたため、子どもの権利の視点から、相談救済機関の必要性を認識し、平成24年度には「世田谷区子ども条例」を改正、子どもの権利を擁護し、権利を侵害され時に救済を目的とした、第三者機関として子どもの人権擁護委員を位置づけた。平成25年に改正子ども条例を施行「せたがやホッと子どもサポート(せたホッと)」を子ども・子育て総合センターの3階に設置した。

(2) 事業概要について

ア 子どもの人権擁護委員(子どもサポート委員)の設置目的、職務

子どもの人権を擁護し、権利を侵害された子どものすみやかな救済を図ることを目的とし、区長部局と教育委員会が一体となって区全体で子どもの権利侵害への救済に取り組むため、両執行機関の付属機関として位置づけられている。

18歳未満の子どもの権利侵害にかかる事案を対象に、相談に応じ、必要な助言や支援、権利侵害を取り除くための調査や要請、権利侵害を防ぐための意見を述べることや内容を公表すること、人権擁護についての理解を広めることに務めている。

イ 委員への協力

その職務に対し、区の機関は、委員の設置の目的を踏まえ協力しなければならない。区民や区以外の機関は、協力するよう努めなければならない。

ウ 体制

- ・子どもサポート委員3名
(子ども家庭福祉を専門とする大学名誉教授、体育制度や子ども支援学の准教授、弁護士)各委員の独任制を原則とする。
- ・相談・調査専門員5名
(社会福祉士、臨床心理士、公認心理師、幼稚園教諭、保育士、中学校教諭、高等学校教諭、キャリアコンサルタントの有資格者など)子どもサポート委員を補佐し、相談対応や関係機関との連絡調整を行う。
- ・子ども・若者部子ども家庭課が事務局として、サポート委員の補佐、区組織との連携・調整を行っている。

エ 相談方法

電話、メール、FAX、その他、昨年からは面接手紙やはがきでの相談に取り組んでいる。相談時間は、月曜～金曜日の午後1時～午後8時、土曜日の午前10時～午後6時と、子どもの相談しやすい時間帯となっている。

オ 擁護委員会

世田谷区子ども条例施行規則第15条で、「擁護委員の職務執行の一般方針その他の必要な事項を決定するため、擁護委員全員で構成する擁護委員会を設置する」と規定し、子どもの最善の利益実現のためにどのようにしていけばよいかを検討し、申し立て案件や発意案件に関して擁護委員の合議で方針を決めている。

(令和3年度は24回開催した。)

(3) 実績・効果について

「せたホッと」を身近に感じてもらえるよう「安心して相談できる機関」、「顔の見える相談機関」をモットーに、リーフレットや広報カード、相談はがきの配布の他、地域に足を運んでそこで周知や、子ども達が自ら考えた、マスコットキャラクターの「なちゅ」の使用など、広報・啓発活動の取り組みを行った。設立当初20%しかなかった認知度は、平成30年には80%となり、令和3年度の相談状況は、継続も含め366件。その内、相談終了件数は292件、令和4年度への継続件数は74件となっている。約65%が、「子ども」本人からの相談で、「おとな」からの相談は約34%。相談内容で最も多かったのは、「対人関係の悩み」次いで、「いじめ」や「虐待」、「学習・進路の悩み」が大幅に増加傾向にある。初回の相談方法としては、「電話」が56.3%(169件)と最も多く、次いで、「はがき」24.7%(74件)、「メール」14.3%(43件)と続く。特に、昨年からは始めた、はがき相談が増えており、子どもからの相談では約4割を占めている。「小学校」に在籍している子どもに関する相談が全体の6割以上を占め、「中学校」「高校等」と続く。

(4) 今後の課題、展開について

子ども基本法の成立によって、子どもが意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参加する機会が確保されることが努力義務ではなく、権利として位置づけられた。世田谷区の子ども条例では、条例文含め意見表明の視点が足りておらず、また実際にどのように子どもの意見を反映させていくのか、プロセスにおいても今後の課題である。

「せたホッと」の活動が広く地域に根付き、子ども権利条例に基づいた子どもの相談・救済機関の広がりや子どもの権利の普及啓発につなげていく。

(5) 所見

平成14年子ども条例施行、その後10年の年月をかけ、平成25年4月改正子ども条例を施行し、通称「せたがやホッと子どもサポート」（略称せたホッと）を設置し、7月に「区立子ども子育て総合センター」にて相談を開始し、現在に至る。

長い年月と多くの労力をかけ、世田谷区、子どもの人権擁護機関、通称「せたがやホッと子どもサポート」を作り上げた事に敬意を表わすところです。特筆すべきことは、その時々々に即した対策を柔軟に行うことにより、相談件数が増加、このことは相談がし易くなったことにより、今迄埋もれていたものが表に出てくるようになったものと推測出来るのでは。子どもに対しこと細かな心使いで寄り添った対応の賜物と思います。

その中で少し感じたことは、設置目的の内容に権利を侵害された子どもの文章です。細かいことですが、侵害されたのではなく、されそうな（されているのではないか）の時点での救済が可能かどうかを考えるべきではないかと感じた。

侵害されているのではないかの段階での救済は、プライバシー保護の観点から難しいものと思われるが、一步踏み込んで現状を把握するための方策をとることにより、未然に防ぐことが出来るのでは、本市での検討課題とします。



【世田谷区】

- ◇ 視察日時 令和4年8月18日(木)
- ◇ 視察事項 世田谷区立桜丘中学校の教育について
- ◇ 視察会場 世田谷区立桜丘中学校
東京都世田谷区桜丘 2-1-39
- ◇ 面会者 世田谷区立桜丘中学校 加藤敏久校長
高橋真弓副校長
- ◇ 視察概要

1、調査目的

さくらの学び舎「世田谷区立桜丘中学校」は、多様性の尊重とインクルーシブの実現を基本理念とし、明確化した校則やチャイムのない環境において生徒の学びを支援している。

東京都人権尊重教育推進校としての取組み等を学校現場で学び、新潟市子ども条例第4章「権利侵害の救済」に関する具体的な救済機関設置に向けた第一歩とするため、少子高齢化協議連と男女共同参画協議連の合同視察研修会とする。

(1) 桜丘中学校モデルに至る経緯

世田谷区立桜丘中学校は東京都世田谷区桜丘2丁目に位置する公立の中学校。

2010年に着任された西郷孝彦校長が、4つの新しいOS (Operating System) を導入。

- ①多様性の需要・尊重 (みんな違っていい。みんな違うほうがいい)
- ②愛情を持って生徒に接する (生徒と教員が溶け込んでいるような関係性)
- ③1人1人を大切にする (うちのクラスは、と言わない。1人1人を見る)
- ④子どもと共に「生きる」 (子どもの3年間と自分の人生の3年間を一緒に生きる)

数年間かけて生徒の発達特性に応じたインクルーシブ教育を取り入れ、校則や定期テスト等の廃止、個性を伸ばす教育を推進。現在(令和4年度)は加藤敏久校長が、予測困難な時代において人間尊重の精神を基盤に平和で民主的かつ持続可能な社会の形成者を育成することを目指し「聡明」「自立」「調和」の教育目標を定め、安心して過ごせる学校づくり、誰ひとり取り残さない人権教育の推進に取り組んでいる。

(2) 教育方針について

【学校経営方針】

桜丘中学校の教育方針は学校経営要覧に「学校経営方針」として明記されている。

- ① 単元ごとの探求的な学習の実践
- ② ICTの日常的活用
- ③ 習熟度と学習のニーズに応じた少人数授業
- ④ 持続可能な開発目標に関連付けた学習

- ⑤ いつでもどこでも学習
- ⑥ 校則がなくても自由過ぎない「ちょうどよい自由」
- ⑦ コロナ予防と並行した学校行事・部活動や地域連携

【生徒の個性を活かす教育】

多様なバックグラウンドを持つ生徒ひとりひとりを尊重し、合理的配慮によって生徒の個性を活かす教育を実施。学校の主人公「生徒」たちが自発的に生き生きと学び、活動できる校風を大切にしている。

- ・登校できない、教室に入ることにはできない場合はオンライン授業を受けることができ出席への配慮を可能としている。
- ・教室には入れないが、学校包括支援員へ学校生活サポーターとコミュニケーションを取り過ごすことができる「ほっとルーム」を設置
- ・自習やオンラインでの授業参加、先生と話をした時や気持ちをクールダウンしたい時に利用できる「ヘルプデスク」を職員室前の廊下に設置

【TPOについて考える力を育てる教育】

明確化した「校則」や「チャイム」をなくしている。「グッドマナー」を合言葉に、挨拶、礼儀、時間を守ることなどのTPOに応じた言動を生徒自ら考える指導を実施。

【東京都教育委員会 人権尊重教育推進校】

生徒の発達段階に応じ、人権の意義・内容・重要性について理解し、自他の大切さと多様性を認め合い、いじめのない人権が尊重される学校づくりをしている。令和3、4年度は「誰ひとり取り残さない人権教育の推進」を研究主題に、いじめ防止プログラムやLGBTQに関する講演会、障がい者や外国人の人権に関わる取り組みを実施。

【さくらの学び舎】

世田谷区立の1幼稚園、2小学校、1中学校（桜丘幼稚園、桜丘小学校、笹原小学校、桜丘中学校）が一体となって21世紀を生きる幼児・児童・生徒ひとりひとりの個性や能力を活かし、自立した個人として生きる基礎を培い、基本的な資質を養う、区民の高い期待と信頼に応えられるより質の高い教育を実現していこうとする取り組み。幼・小・中の11年間の教育を一体の学び舎として、探求的な学びを推進し、確かな学力や非認知能力（あきらめない心など）を育むことを目指している。

(3) 教育方針に対する生徒たちの評価は

- ・ほっとルームなど学校の中に居場所があることで安心して過ごしている生徒が多い。
- ・校則をなくし、髪の毛の色や服装も自由だが、生徒と教員の関係性は良好。
- ・定期テストをなくしたが、リカバリーできる朝のミニテスト（積み重ねテストシステム）を導入。また、なくしたチャイムの代わりに音楽を活用する等、現状に応じて生徒たちと新たな取り組みも。
- ・熱中症予防、地域防災の視点、SDGs活動としても必要と生徒が考えて出した結果、

校内に自動販売機を設置すると生徒会で決定。そのほかにも生徒会では学校を通じて社会全体を明るくすることに積極的に関わり、情報を発信している。

・各学年6クラスのうち2クラス分の生徒は校区外からの転入者という現状。多様な生徒のニーズを尊重する様々なサポート体制が評価され必要とされている。

(4) 課題と今後について

桜丘中学校モデルをスタートさせた西郷校長の退任の際は大きな波紋があり、今後も校長をはじめ教職員の異動に伴う学校経営方針の変化の有無は地域も注目している課題である。また、オンライン授業やAI型教材の導入にも対応できるよう、教職員のスキルアップ、質の向上の必要性を感じている。今後は、イエナプラン（ドイツで始まりオランダで広がった、ひとりひとりを尊重しながら自律と共生を学ぶオープンモデルの教育）的な教育活動や「家から部活（オンライン部活）」にも取り組み、卒業後の状況把握も行いたいとのこと。

(5) 所見

区内でも有名な「桜並木」にちなんで、「さくらの学び舎」と命名し、1幼稚園、2小学校、1中学校のグループで「せたがや11+」として、11年間の教育を一体として捉えているとの事である。常に区の教育委員会との連携を密にした教育を行っている区立の幼、小、中の一貫校である事が大きな特長と思われる。

その基本になっているものが、「誰ひとり取り残さない人権教育の推進」と銘打って教科の中での人権教育指導により、「人権尊重の精神」を育てている公立の学校では珍しいと感じながら、都及び区の教育委員会の懐の深さに頭の下がる思いです。

定期制のテストを取り止め、登校拒否の生徒が学校に来やすいように専用の教室を設置し、学校包括支援員や学校生活サポーターと過ごしたり、教室に入らなくても職員室前の廊下や他の場所で勉強できる事を許容し、時には先生と話をしたり、オンライン授業に参加出来る環境を作る事も、人権教育の一環としている事に共感を持たざるを得ないのではないのでしょうか。

一方では、この学校にいと頭が悪くなると申し出て、転校して行った生徒も現れたように全ての子供達に受け入れられた訳ではないという現実もあり、今後の課題になるのではと感じた。



【内閣府】

- ◇ 視察日時 令和4年8月18日(木) 午後1時30分～午後3時30分
- ◇ 視察事項
 - こども家庭庁の創設
 - こども基本法について
- ◇ 視察会場 衆議院第一議員会館 会議室
東京都千代田区永田町2丁目2-1
- ◇ 面会者
内閣官房こども家庭庁設立準備室 井上泰輔参事官補佐
- ◇ 視察概要

(1) こども家庭庁の創設について

令和3年6月18日に子供の貧困、児童虐待、障害、重大ないじめなど、こどもに関する様々な課題に総合的に対応するため、年齢による切れ目や省庁間の縦割りを排し、妊娠前から妊娠・出産・新生児期・乳幼児期・学童期・思春期を通じ、子供の権利を保障し、子供の視点に立って、各ライフステージに応じて切れ目ない対応を図るとともに、就学時等に格差を生じさせない等の教育と福祉の連携、子供の安全・安心の確保、関係部局横断的かつ現場に至るまでのデータ・統計の充実・活用等を行い、困難を抱える子供への支援等が抜け落ちることのないような体制を構築することとし、こうした機能を有する行政組織を創設する。

・令和3年 7月 7日 「こども政策の推進に係る作業部会」・「こども政策推進体制検討チーム」設置

- ・令和3年 9月16日 「こども政策の推進に係る有識者会議」開催
- ・令和3年11月29日 「こども政策の推進に係る有識者会議報告書」とりまとめ
- ・令和3年12月 2日 「こども政策の推進に係る作業部会」において「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針（原案）」とりまとめ
- ・令和3年12月21日 「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」閣議決定
内閣官房に「こども家庭庁設置法案等準備室」を設置
- ・令和4年 2月25日 両法案閣議決定・国会提出
- ・令和4年 4月 4日 「こども基本法案」国会提出
- ・令和4年 6月15日 「こども家庭庁設置法」・「こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律」・「こども基本法」成立
- ・令和5年 4月（発足に向けた準備中）
「こども家庭庁設置法案等準備室」を「こども家庭庁設立準備室」に改組。

（2）こども基本法について

○目的

日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神にのっとり、次世代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、こどもの心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利の擁護が図られ、将来に渡って幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して、こども政策を総合的に推進する。

○基本理念

- ①全てのこどもについて、個人として尊重されること・基本的人権が保障されること・差別的取扱いを受けることがないようにすること。
- ②全てのこどもについて、適切に養育されること・生活を保障されること・愛され保護されること等の福祉に係る権利が等しく保障されるとともに、教育基本法にのっとり教育を受ける機会が等しく与えられること。
- ③全てのこどもについて、年齢及び発達の程度に応じ、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会・多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。
- ④全てのこどもについて、年齢及び発達の程度に応じ、意見の尊重、最善の利益が優先して考慮されること。
- ⑤こどもの養育は家庭を基本として行われ、父母その他の保護者が第一義的責任を有するとの認識の下、十分な養育の支援・家庭での養育が困難なこどもの養育環境の確保。
- ⑥家庭や子育てに夢を持ち、子育てに伴う喜びを実感できる社会環境の整備。

○責務等

国・地方公共団体の責務 事業主・国民の努力

○白書・大綱

年次報告（法定白書）・こども大綱の策定

○基本的政策

①施策に対するこども・子育て当事者等の意見の反映

②支援の総合的・一体的提供の体制整備

③関係者相互の有機的な連携の確保

④この法律・児童の権利に関する条約の周知

⑤こども大綱による施策の充実及び財政上の措置等

○こども政策推進会議

こども家庭庁に、内閣総理大臣を会長とする、こども政策推進会議を設置

①大綱の案を作成。

②こども施策の重要事項の審議・こども施策の実施を推進。

③関係行政機関相互の調整等。

○会議は、大綱の案の作成に当たり、こども・子育て当事者・民間団体等の意見反映の為に必要な措置を講ずる。

○附則 施工期日：令和5年4月1日

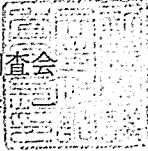
検 討：国は、施工後5年を目途として、基本理念にのっとり、こども施策の一層の推進の為に必要な方策を検討。

(3) 所見

常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組・政策を国社会の真ん中に据えて（「こどもまんなか社会」）を目指すための司令塔として、こども家庭庁を創設することである。今後のこども政策の基本理念の説明がありましたが、こども家庭庁、教育的なものを担当する文部科学省や厚生労働省の管轄等を含めて、具体的にはまだはっきりしていなく複雑で理念が薄れるのではないかと危惧があるので、整理する必要があるのではないかと感じた。

また、こども基本法においては、こどもコミッショナー制度等、こどもの人生にとってもっとも必要な事は何かを含め、こどもにとって最善の利益が優先して考慮されることが望ましいのではと感じた。予算についても現段階では、はっきりとした要望額が示されていないという事なので、スピード感を持って必要な方策を望むものである。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和4年度	整理番号 (項目別)	3
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日		
支出年月日	令和 5 年 3 月 31 日		
支 出 金 額	2,672 円		
支 出 先	新潟市議会市政調査会		
使 途 内 容	市政調査会費		
備 考	研修会開催経費		
<p>領収書</p> <p style="text-align: center;">領 収 書</p> <p style="text-align: center;">翔政会 皆川 英二 様</p> <p style="text-align: center;">金 2, 6 7 2 円 也</p> <p>ただし、令和4年度新潟市議会市政調査会会費（研修会開催経費）として、 上記金額を領収いたしました。</p> <p style="text-align: right;">令和5年3月31日</p> <p style="text-align: right;">新潟市議会市政調査会 会長 古 泉 幸</p> 			

※領収書は、領収書と別紙の領収書とを併用していただく。

備考欄には按分率等を記入してください。

様式7



支出伝票一覧表

会派名	翔 政 会			皆川 英二	
支出年度	令和4年度	支出項目	広報費	No. 1	
整理番号	支出年月日	支出内容		支出金額	備考
1	R5.2.14	市政報告、印刷、製本、折込		389,550 円	
2				円	
3				円	
4				円	
5				円	
6				円	
7				円	
8				円	
9				円	
10				円	
11				円	
12				円	
13				円	
14				円	
15				円	
16				円	
17				円	
18				円	
19				円	
20				円	
計				389,550 円	

※ 支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	1
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 5 年 2 月 12 日		
支出年月日	令和 5 年 2 月 14 日		
支出金額	089,550 円		
支出先	松浜印刷所		
使途内容	市政報告印刷製本折込		
備考	折込日 令和5年2月12日		

<u>領 収 証</u>		No.					
皆川 えいじ 様							
金額	<table border="1"> <tr> <td>百</td> <td>千</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>38</td> <td>9</td> <td>550</td> </tr> </table>		百	千	円	38	9
百	千	円					
38	9	550					
但し印刷用 折込立替(86,433円) 上記の金額正に領収致しました 令和 5 年 2 月 14 日							
現金	¥	0					
小切手	枚						
手形	枚						
振込	¥						
相殺	¥						
新潟市北区松浜本町4丁目10-24 松 浜 印 刷 所 TEL (025) 259-2039 FAX (025) 259-2144							
							

納品・請求書

令和5年2月12日

皆川英二 御中

〒950-3125

新潟市北区松浜曙町10-24

松浜印刷所

電話 025-259-2039

FAX 025-259-2144

毎度格別のお引立て有難うございます。
下記の通り納品・請求致しますので宜しくお願い致します

単位:円

品名	数量	単位	単価	金額
・市政報告 No.28 B3両面				
両面カラー コート90k	16,600	枚	16.60	275,560
二つ折り				
※版下作成・変更・レイアウト作成等すべて含む				
※配送作業含む				
(2/12(日)折込分)				
折込料金・立替分	16,370	枚	4.8	78,576
※折込内訳				
日報・アガノセンター	6,850	枚		
木崎	2,130	枚		
NIC豊栄南	2,710	枚		
NIC豊栄北	2,990	枚		
水原・田代新聞店(旧豊栄一部)	340	枚		
読売新聞	1,350	枚		
折り込み合計	16370	枚		
他、事務所分(手配り用)	230	枚		
小計				354,136
消費税				35,414
合計金額				389,550
備考				

経済社会活動の再興に向けて

コロナ禍で打撃を受けた多くの事業者の皆様から御声をお聞きし、これまで200を超える事業を実現してきました。

これまでの取り組み

- ◎地域の飲食店等を支援するため弁当代を補助
- ◎「飲食関連事業者応援事業」を実施
- ◎地域のお店応援商品券（第1・2弾）を発行

これからの取り組み

- ◎地域のお店応援商品券（第4弾）
▶発行額60億円、市内全域約5,000店舗が参加
- ◎未来に向けたバス・タクシー利用者支援
- ◎にいがたを創ろう！農水産物産地直送支援事業
▶市内産品と加工物の販路の拡大を図る送料を全額負担

など

(一) 「新型コロナウイルスに打ち勝ち「平穏な日常」を取り戻す」こと。

現在は第八波に入り、新規感染者数が増加傾向にあります。医療への

二期目のスタートに当たり、決意を

新たに、新潟市の明るい未来を切りひらいていくため、新潟市政の発展に力を尽くしてまいります。

多くの皆さまから「新潟で育てよかった」「新潟で暮らしてよかった」「新潟で働いてよかった」と思っていただけの新潟を市民の皆さまと一緒に創りだしたいための三つの決意。

**令和四年十二月定例会
中原市長所信表明**



新 潟 市 議 会 議 員 皆 川 英 二

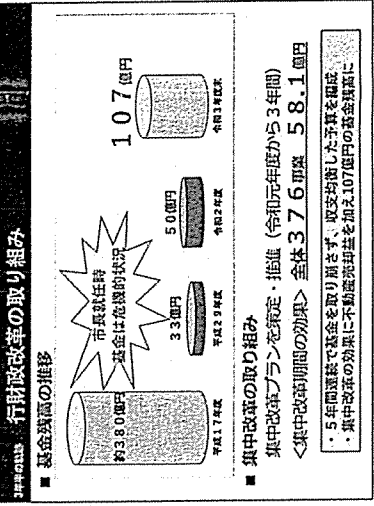
市政報告

発行 / 翔政会
新潟市議会議員
皆川英二
事務所：新潟市北区
新元島町9953-10
TEL 025-258-2029
FAX 025-258-6090

(三) 「新潟の明るい未来を切りひらく」こと。

今後も人口減少は進み、社会の担い手不足、税収の減少など我々を取り巻く環境は一層厳しさを増していきます。

新潟の良さは「都市と田園が調和し暮らしやすい」というところにあります。その強みを最大限生かしながら、新潟を活力ある日本海側の拠点都市にしていく。そして、市内八区の歴史や文化、産業などの特色を生かし、八つ



負荷が確実に高まってきていることから、早急な見直しを続けてまいります。

新型コロナウイルスとうまく付き合いつつ、一日も早く平穏な日常を取り戻すべく、本市の社会経済の回復に向け、努力をしていかなければならない。

(二) 「行財政改革を継続し持続可能なまちを実現すること。

これまで取り組んできた行財政改革の手を緩めることなく、災害にしっかりと備え、市民の皆さまの豊かな生活への投資を可能とする財政基盤づくりを進める。

のカラーで成長し続ける新潟市の実現に取り組んでまいります。

様々な分野の政策

「経済活力の向上と雇用の創出」

「新潟2nd」を、「緑あふれ人・モノ・情報が行き交う活気あふれるエリア」へと発展させ、都市エリアの活力、成長エネルギーを全市域に波及させていきます。

デジタル化に対応したオフィス整備を促進し、新たな企業誘致。起業家やスタートアップ企業など、新たなビジネスにチャレンジする皆さまを全力で応援する。

中小企業のさらなる成長に向け、デジタル化への支援、市内八つの工業用地の整備を通じて企業誘致を進めるなど、新たな雇用を創り出していく。

「もつかる農業」

新潟が誇る広大な水田と農業を守り、次世代へしっかりと引き継いでいくため、園芸複合化や農産物の販路拡大などに取り組み、農業が若者に選ばれる産業となり、農業と農村が元気になるため、戦略的に取り組んでいきます。

「交流人口の拡大」

新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた観光分野では、交流人口の早期回復と拡大を目標とし、「食や農」といった本市の多彩な魅力を最大限生かしながら、佐渡市をはじめとした他の自治体などと広域的に連携し、誘客を促進し、交流人口の拡大につなげていきます。

「安心で安全なまちづくり」

近年の自然災害の激甚化、頻発化をふまえ、いつ何時、災害が発生しても、道路や橋りょう、上下水道など市民生活の基盤となるインフラ施設が機能を発揮することができるよう、国や県と連携しながら本市の強靱化を進めます。

また、除雪体制のさらなる強化を図

り、降雪期における市民生活の安全度を高めるとともに、数年に一度の災害級の大雪に対しても、市民の皆さまと協力しながらしっかりと備えてまいります。



- 昨年1月の大雪対応は除雪費用が90億円以上
- ▶ 総務大臣や国土交通大臣に要望を致し、追加配分を引き出し除雪の影響を最小限
- ▶ 交付税の償還制度区分1級→2級へ、年1.0億円上積みより安定した除雪体制の構築へ大きく前進

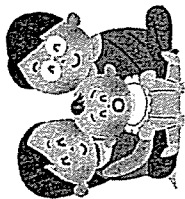
「本市の拠点性のさらなる向上」

新潟駅が、県都である新潟市の玄関口として相応しい「新潟らしさ」を感じられる駅や駅周辺となるよう、着実に取り組んでいきます。

新潟中央環状道路、万代島ルート線、新潟西道路といった市内の道路・交通ネットワークの強化に加え、国際港湾、空港、新幹線などの活用により、人流・物流のさらなる拡大につながるよう、県や県と連携し取り組んでまいります。

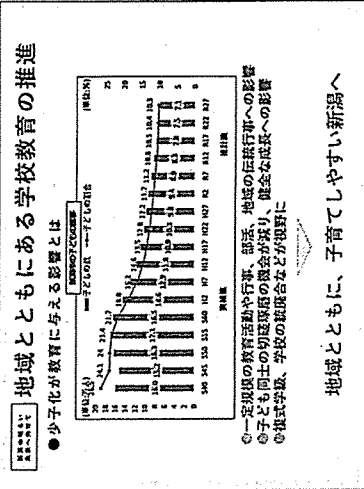
「子育てしやすいまちづくり」

市民の皆さまの結婚や出産、子育てへの不安を一つ一つ取り除き、希望する人が安心して子どもを産み、育てられる環境を構築してまいります。そのため、妊娠婦医療費助成の所得制限を撤廃するなど、子育て世帯の経済的・精神的負担のさらなる軽減を図るなど、ライフステージに応じた切れ目のない支援を充実させます。



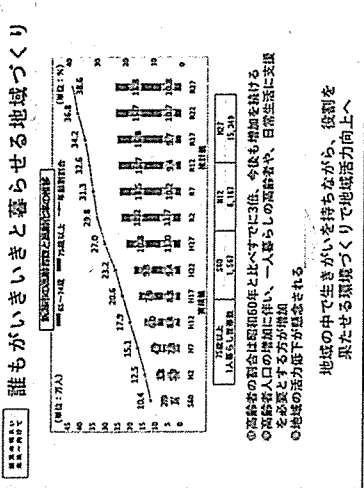
「学力や体力、豊かな心を育む教育の推進」

教育委員会と連携し、キャリア教育やICTを活用した教育を推進し、子どもたち一人一人が自己実現しようとする力を伸ばすことで、これからの社会をたくましく、自分らしく生き抜く力を育成していきます。



「健康で安心して暮らせる地域づくり」

高齢者の方や障がいがある方など、誰もが、住み慣れた地域で、健康で安心して暮らし続けられるよう、支えあいの地域づくりとあわせ、医療・介護人材を確保しながら、地域の実情に応じた在宅医療と介護の連携を進めてまいります。



「誰もがいきいき暮らせる地域づくり」

地域の「支えあいのしくみづくり」を推進

- ◎ 多世代が交流できる環境づくり
 - ▶ 「地域の茶の間」「子ども会堂」「みんなのあいだ」で、顔の見える関係づくりが広がり、地域の活力向上へ
- ◎ 地域ので広がる「支えあいの輪」
 - ▶ 買い物支援 配食サービス、あいさつ運動
 - ▶ 地域コミュニティ 地区自治会を中心に、区役所や社会福祉協議会などと連携しながら、「地域の力」で日常生活の困りごとや心配などの解消へ
- ◎ できる人ができる範囲で活躍できる環境づくり
 - ▶ 高齢者の見守り、交通安全、学校支援ボランティア
 - ▶ 中学生のミニ出しや、子どもの通学の交通安全隊、学校の学習支援など、解雇のない範囲の非正規雇用でも大活躍

「誰もが便利で暮らしやすい環境づくり」

市民の皆さまの日常生活の足である、電車やバスなどの公共交通のさらなる充実に向け、駅のバリアフリー化や新駅の設置、新しいバス路線の整備など官民連携により進めていきます。

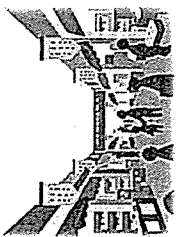
「都市の活力と暮らしの向上の好循環」

八区の活力向上に向けて、区の実情に合わせた柔軟かつ自律的な区政運営ができるよう区の権限、財源をさらに強化します。

併せて、各区の特色を生かした民間事業を支援する新たな仕組みを構築し、官民が連携して区の活力向上、さらには市の活力向上につなげていきたいと考えております。

実現に向け、すぐに取り組めるものについては動き始め、新年度予算に反映させていきたいと考えています。

今後は、市長の選挙公約や選挙後初めての議会への提出議案、さらに新年度予算要望等を精査し、市民のために是是非非の精神を忘れず市政を支え、より素晴らしい新潟市づくりに邁進してまいります。

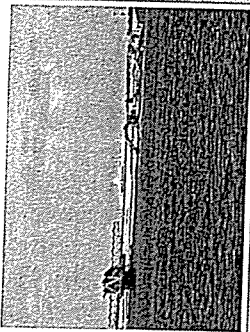


【北区選出市議会 議員団要望項目】

- 1 日本海側の中心的港湾の東港を早期整備し、拠点港湾の機能を高めるとともに、クルーズ船寄港の大幅増加を図ることを強く望む。
- 2 経済成長・雇用拡大及び税収増に向け、大郎代地区・横土居地区・豊栄駅北側に大胆な再開発を併せ、工業団地の造成を望む。
- 3 農業者育成及びスマート農業推進のため、「元気な農業支援事業」をスタート時と同様に人件費を含め二分の一補助を望む。
- 4 北出張所の老朽化対策を望む。
- 5 北地区の海岸線に近い住民の津波対策として、緊急避難場所の再検討と避難時交通対策を望む。
- 6 福島島の治水及び美化整備とビュー福島島の無料化を早急に行うことを望む。
- 7 松浜・南浜地区海岸線の浸食防止対策として、国と県に働きかけを速やかに行うことを望む。
- 8 観光振興のため、海辺の森キャンプ場にオートキャンプ場の増設を望む。
- 9 放課後児童クラブの狭陰化解消に取り組まれない。
- 10 墓塚ひまわりクラブの老朽化が著しいことから、新たな施設設置を望む。

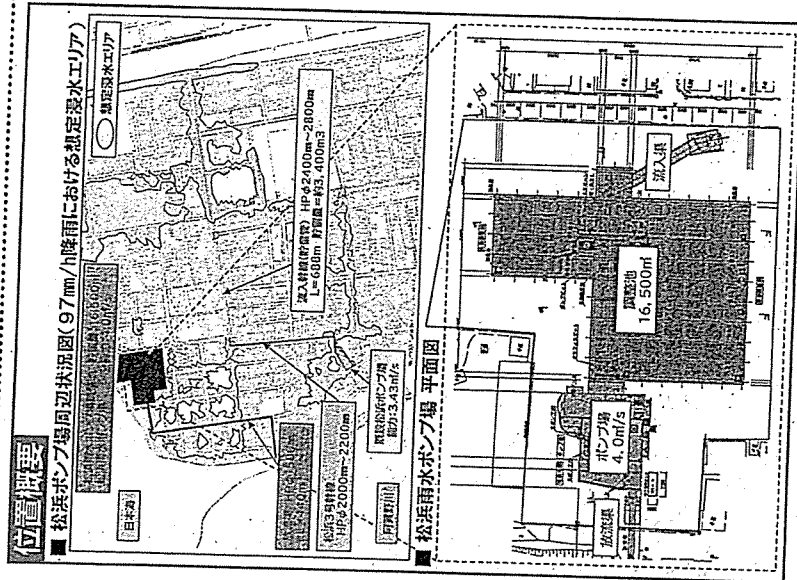


福島島景観



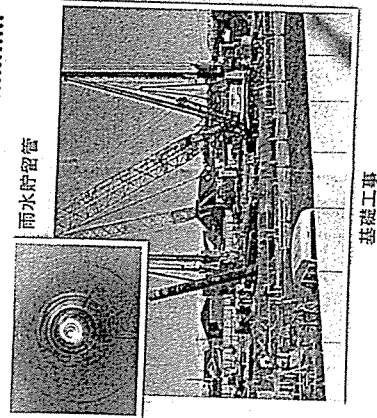
治水対策…砂州撤去工事

松浜雨水ポンプ場の整備について



今後のスケジュール

- ・過年度 : 流入幹線 (φ2400 mm~2800 mm) 貯留管として供用開始済
- ・令和3~8年度頃 : 調整池、流入渠整備
調整池完成後、暫定供用開始
- ・令和5~7年度 : 松浜3号幹線 (φ2000 mm~2200 mm) 整備
- ・令和7年度~ : 放流渠 (φ1500 mm)、ポンプ場 (能力: 4.0 m³/s) 整備
- ・令和12年度頃 : ポンプ場供用開始予定



平成二十五年九月定例会で、排水ポンプ場整備前の応急処置として貯留管の埋設工事を要望し、その後管径二、四mと二、八m延長、約五百九十メートル、貯留量三千四百m³規模の貯留管が布設され冠水対策の一助になっています。今回の工事は貯留管からの雨水を受け入れるための調整池(一万六千五百m³)と流入渠整備工事です。

皆様の意見・ご要望を
お聴かせ下さい。
責任を持って
対応いたします。

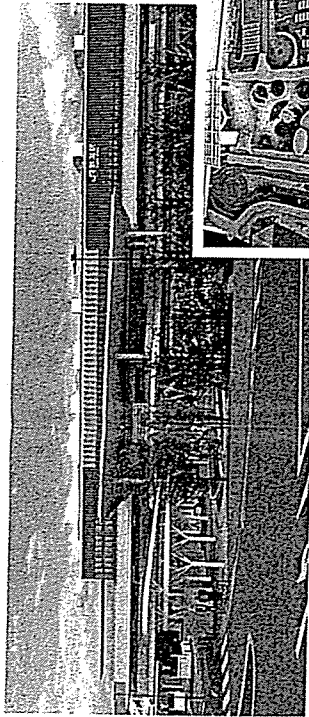
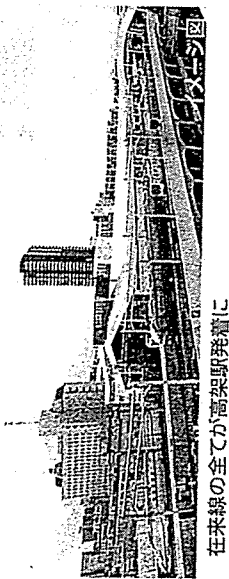


新潟市議会議員
皆川 英二

連絡先
新潟市北区新元島町3953-10
☎ 258-2029
FAX 258-6090

(本報は政府活動費の一部を充当しています。)

全線高架化



●新潟駅直下バスターミナルや新万代広場の整備を推進するとともに、国と連携し(仮称)バスタ新潟の整備を促進します。併せて、駅南北を結ぶ幹線道路の整備を着実に進め南北市街地の一体化を図ります。

国・県と連携し、拠点性のさらなる向上を目指します。

議員定数調査 特別委員会最終報告

本委員会は委員長を私が務め、六会派各一名で構成し、令和四年三月三日の設置以来、付議事項に基づき、令和二年国勢調査確定値に基づく他の政令市の議員定数検討状況や衆議院選挙で適用される配分方式(アダムス方式)についてなど延べ十一回にわたり鋭意調査、研究を行ってきました。

議員定数(議員の総数)

- 一 減
 - ・翔政会
 - ・新潟市公明党
 - ・新市民クラブ
- ・現状維持
 - ・ともに躍動する新潟
 - ・市民ネットにいがた
- 一 増
 - ・日本共産党新潟市議会議員団

各区の配分方式

- 現状の最大剰余方式
- ・日本共産党新潟市議会議員団
- アダムス方式
- ・翔政会
 - ・ともに躍動する新潟
 - ・新潟市公明党
 - ・新市民クラブ
 - ・市民ネットにいがた

議員定数についての意見

- 一減の意見
 - ・人口が減っているなかで増員はありえない。
 - ・議員としても身を切る選択をすることは避けられない。
- 現状維持の意見
 - ・現行の議員定数で市民意見を聴取することが困難な行政区があることから現行の定数を維持することが適当。
 - ・人口減少社会が進行するとはいえ八区体制の中で地域の声を反映させるには、現行定数の維持が必要。
- 一増の意見
 - ・現行の定数で国勢調査の結果を踏まえれば、各区の議員数が一増一減となるが、合併市町村の声が届かない状況

で議員定数の削減を行うべきではないという立場から、現行の定数より一増の五十二とする。

各区の議員数、配分方式

●現行と同じ最大剰余方式の意見
アダムス方式は最大剰余方式より一票の格差はより少なくなるが、極めてわずかな違いであり、本市は大合併が行われたことも踏まえて、今回は現行の最大剰余方式のままとし、それぞれの方式のメリットデメリットを見極めた上で、次の国勢調査後に判断をするべき。

●アダムス方式の意見
最大剰余方式では西蒲区の減が考えられるが、議員定数の少ない区においてさらに議員が減るようなことになる。市民からの意見が拾えなくなると、一票の格差が最小となるアダムス方式が適当である。少しでも一票の格差が是正できるのであればそれを選択することも重要である。

議員定数について三案、各区議員数配分方式について二案を併記しての最終報告とし、委員会として、今後速やかにかつ慎重に議員定数についての議会意思を決定されるよう、十二月定例会議場にて要望し本委員会の調査研究を終了。延べ十一回にわたる調査研究のための委員会では、各委員それぞれの立場を越えて市民に受け入れていただけの最良の結果を示すことができたものと考えております。

議員定数一減で決着

十二月定例会において、議員定数調査特別委員会委員長から調査研究の最終報告の後、三件の議員提案が提出され、順次採択へ。
最初の議員提案第四十五号は採決の結果否決。次に同じく第四十六号を採決し、これも否決。
最後に同じく第四十七号を採決し可決され、一減案に決定されました。
議員提案第四十五号 一増案
第四十六号 現状維持案
第四十七号 一減案
次の市議会議員選挙は「一区一減」を望むことで決着となりました。

支出伝票一覧表

会派名	翔 政 会			皆川 英二	
支出年度	令和4年度	支出項目	資料購入費	No. 1	
整理番号	支出年月日	支出内容		支出金額	備考
1	R4.4.21	しんぶん赤旗		3,497 円	第1紙日本経済新聞
2	R4.4.27	新潟日報統合版		3,400 円	第1紙日本経済新聞
3	R4.4.28	公明新聞		1,887 円	第1紙日本経済新聞
4	R4.5.20	しんぶん赤旗		3,497 円	第1紙日本経済新聞
5	R4.5.27	新潟日報統合版		3,400 円	第1紙日本経済新聞
6	R4.5.27	公明新聞		1,887 円	第1紙日本経済新聞
7	R4.6.21	しんぶん赤旗		3,497 円	第1紙日本経済新聞
8	R4.6.27	新潟日報統合版		3,400 円	第1紙日本経済新聞
9	R4.6.29	公明新聞		1,887 円	第1紙日本経済新聞
10	R4.7.22	しんぶん赤旗		3,497 円	第1紙日本経済新聞
11	R4.7.27	新潟日報統合版		3,400 円	第1紙日本経済新聞
12	R4.7.29	公明新聞		1,887 円	第1紙日本経済新聞
13	R4.8.19	しんぶん赤旗		3,497 円	第1紙日本経済新聞
14	R4.8.29	新潟日報統合版		3,400 円	第1紙日本経済新聞
15	R4.8.30	公明新聞		1,887 円	第1紙日本経済新聞
16	R4.9.21	しんぶん赤旗		3,497 円	第1紙日本経済新聞
17	R4.9.27	新潟日報統合版		3,400 円	第1紙日本経済新聞
18	R4.9.30	公明新聞		1,887 円	第1紙日本経済新聞
19	R4.10.21	しんぶん赤旗		3,497 円	第1紙日本経済新聞
20	R4.10.27	新潟日報統合版		3,400 円	第1紙日本経済新聞
計				59,601 円	

※ 支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

支出伝票一覧表

会派名	翔 政 会		議員名	皆川 英二	
支出年度	令和4年度	支出項目	資料購入費	No. 2	
整理番号	支出年月日	支出内容		支出金額	備考
21	R4.10.28	公明新聞		1,887 円	第1紙日本経済新聞
22	R4.11.21	しんぶん赤旗		3,497 円	第1紙日本経済新聞
23	R4.11.27	新潟日報統合版		3,400 円	第1紙日本経済新聞
24	R4.11.29	公明新聞		1,887 円	第1紙日本経済新聞
25	R4.12.21	しんぶん赤旗		3,497 円	第1紙日本経済新聞
26	R4.12.27	新潟日報統合版		3,400 円	第1紙日本経済新聞
27	R4.12.27	公明新聞		1,887 円	第1紙日本経済新聞
28	R5.1.20	しんぶん赤旗		3,497 円	第1紙日本経済新聞
29	R5.1.27	新潟日報統合版		3,400 円	第1紙日本経済新聞
30	R5.1.30	公明新聞		1,887 円	第1紙日本経済新聞
31	R5.2.21	しんぶん赤旗		3,497 円	第1紙日本経済新聞
32	R5.2.27	新潟日報統合版		3,400 円	第1紙日本経済新聞
33	R5.2.28	公明新聞		1,887 円	第1紙日本経済新聞
34	R5.3.20	しんぶん赤旗		3,497 円	第1紙日本経済新聞
35	R5.3.27	新潟日報統合版		3,400 円	第1紙日本経済新聞
36	R5.3.30	公明新聞		1,887 円	第1紙日本経済新聞
37				円	
38				円	
39				円	
小計				45,807 円	
計				105,408 円	

※ 支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	1
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 4 月 30 日		
支出年月日	令和 4 年 4 月 2 日		
支出金額	0,497 円		
支出先	日本共産党 新潟地区委員会		
使途内容	日刊「しんぶん赤旗」		
備考	第1紙 日本経済新聞		



領収書貼付欄

皆川 英二		様	
新聞・雑誌名	部数	金額	
日刊「しんぶん赤旗」	* 1	3,497	
		*印は税率8%	
		領収書	
		3,497 円	
		2022 年 4 月分	
		上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。	
		日本共産党新潟地区委員会 〒950-0086 新潟市中央区花園2-3-10 Tel.025-247-1346	
領収日	4/2	投書	

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書貼付用紙

区域	読者番号	領収証		(4 年 4 月分)		
皆川 英二 様						
(発行日)		(領収番号)		(担当)		
4/ 4/27		2				
品名	部数	金額(内消費税)				
日本経済新聞	1	4,000(296)*				
<p>ご愛読ありがとうございました。 下記の金額領収致しました。</p> <table border="1"> <tr> <td>合計金額</td> </tr> <tr> <td>4,000 円</td> </tr> </table>					合計金額	4,000 円
合計金額						
4,000 円						
(金額後の*印は軽減税率)8%合計 4,000円 税額 296円						
 NICアガノ 有限会社 LOBELO				新潟市北区松浜本町4-2-23 ☎ 259-2043		
				所長印 		

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	2
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 30 日		
支出年月日	令和 4 年 4 月 27 日		
支出金額	¥400. 円		
支出先	(有) LOBELO		
使途内容	新潟日報統合版		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域	読者番号	領収証	(4 年 4 月分)		
皆川 英二 様 <small>(発行日) (領収番号) (担当)</small> 4/ 4/27 1 					
銘柄名	部数	金額 (内消費税)			
新潟日報統合版	1	3,400 (251)*			
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">合計金額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">3,400 円</td> </tr> </table>			合計金額	3,400 円	<small>ご愛読ありがとうございました。 下記の金額領収致しました。</small>
合計金額					
3,400 円					
<small>(金額後の*印は軽減税率)8%合計 3,400円 税額 251円</small>					

所長印

NICアガノ 有限会社 LOBELO

Nippo Information Center

新潟市北区松浜本町1-2-23
☎ 259-2043

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	3
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 20日		
支出年月日	令和 4 年 4 月 28 日		
支出金額	1,887 円		
支出先	堀 富明		
使途内容	公明新聞		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書

新聞購読料 領 収 証

皆川 英二 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2022 年 4 月分 領収日 4月28日
領収金額 ¥1,887

品 名	定価(税込)	部 数	金 額

その他購読料等 領 収 証

品 名	定価(税込)	部 数	金 額
公明新聞※	1,887	1	1,887

※は軽減税率対象品目です。 (10%対象
(8%対象 1,887) 0)

販売店 堀 富明
住所 新潟市北区木崎2831-29
TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込No. [Redacted]

※領収:

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	4
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 5 月 1 日 ~ 5 月 31 日		
支出年月日	令和 4 年 5 月 20 日		
支出金額	0497 円		
支出先	日本共産党・新潟地区委員会		
使途内容	日刊「しんぶん赤旗」		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

<p>皆川 英二 様</p> <p>新聞・雑誌名 日刊「しんぶん赤旗」</p> <p>*印は税率8%</p> <p>平和守る力 9条生かす政治を</p>	<p>日本共産党発行の しんぶん赤旗</p> <p>領収書</p> <p>3,497 円</p> <p>2022 年 5 月分</p> <p>上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。</p> <p>日本共産党新潟地区委員会 〒950-0086 新潟市中央区花園2-3-10 Tel.025-247-1346</p> <p>領収日 5/20 扱者</p>
--	---

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。


領収書貼付用紙

区域	読者番号	領収証		(4 年 5 月分)
皆川 英二 様				
(発行日)	(領収番号)	(担当)		
4/5/27	2	[Redacted]		
品名	部数	金額 (内消費税)		
日本経済新聞	1	4,000 (296) *		
		合計金額		
		4,000 円		

ご愛読ありがとうございました。
下記の金額領収致しました。

(金額後の*印は軽減税率)8%合計 4,000円 税額 296円

所長印

 **NIC** Nippo Information Center **NICアガノ** 有限会社 **LOBELO** 新潟市北区松浜本町4-2-23 ☎ 259-2043

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	5
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 5 月 1 日 ~ 5 / 7		
支出年月日	令和 4 年 5 月 27 日		
支出金額	3,400. 円		
支出先	(有) LOBELO		
使途内容	新潟日報統合版		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

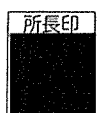
区域	読者番号	領収証 (4年 5月分)	
皆川 英二 様			
(発行日)	(領収番号)	(担当)	
4/5/27			
銘柄名	部数	金額 (内消費税)	
新潟日報統合版	1	3,400 (251)*	
		合計金額	
		3,400 円	
(金額後の*印は軽減税率)8%合計 3,400円 税額 251円			

ご愛読ありがとうございました。
下記の金額領収致しました。



NICアガノ 有限会社 LOBELO

新潟市北区松浜本町1-2-23
☎ 259-2043



※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	6
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 5 月 1 日 ~ 31 日		
支出年月日	令和 4 年 5 月 27 日		
支出金額	1,887 円		
支出先	堀 富明		
使途内容	公明新聞		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書

新聞購読料 領収証

皆川 英二 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2022年5月分 領収日 令和4年5月27日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞※	1,887	1	1,887

※は軽減税率対象品目です。

(10%対象
8%対象 1,887)

販売店 堀 富明
住所 新潟市北区木崎2831-29
TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込み

※領収書

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	7
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 6 月 1 日 ~ 6 月 30 日		
支出年月日	令和 4 年 6 月 21 日		
支出金額	0497 円		
支出先	日本共産党・新潟地区委員会		
使途内容	日刊「しんぶん赤旗」		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

皆川 英二	様	領収書
新聞・雑誌名 日刊「しんぶん赤旗」	部数 * 1	金額 3,497 円
		2022 年 6 月分
		上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。 日本共産党新潟地区委員会 〒950-0086 新潟市中央区花園2-3-10 TEL 025-247-1346
	*印は税率8%	領収日 6/21 投者
「大軍拡反対」なら共産党しかない!		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書貼付用紙

区域 読者番号

領収証

(4 年 6 月分)

皆川 英二 様

(発行日) (領収番号) (担当)

4/ 6/27 2

銘柄名	部数	金額 (内消費税)
日本経済新聞	1	4,000 (296)*

ご愛読ありがとうございました。
下記の金額領収致しました。

合計金額

4,000 円

(金額後の*印は軽減税率) 合計 4,000円 税額 296円



所長印



Nippo Information Center

NICアガノ 有限会社 LOBELO

新潟市北区松浜本町4-2-23
☎ 259-2043



支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	8
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 6 月 1 日 ~ 30 日		
支出年月日	令和 4 年 6 月 27 日		
支出金額	3,400. 円		
支出先	(有) LOBELO		
使 途 内 容	新潟日報統合版		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域 | 読者番号

領収証

(4 年 6 月分)

皆 川 英 二 様

(発行日) (領収番号) (担当)

4/ 6/27 1 []

銘 柄 名	部 数	金 額 (内消費税)
新潟日報統合版	1	3,400(251)*

領収

ご愛読ありがとうございました。
下記の金額領収致しました。

合計金額

3,400 円

(金額後の*印は軽減税率)8%合計 3,400円 税額 251円

所長印

Nippo Information Center

NICアガノ

有限会社 LOBELO

新潟市北区松浜本町4-2-23

☎ 259-2043

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	9
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 6 月 1 日 ~ 20 日		
支出年月日	令和 4 年 6 月 29 日		
支出金額	1,887 円		
支出先	堀 富明		
使途内容	公明新聞		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼

領 収 証

新聞購読料

皆川 英二 様

ご購読ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2022年6月分 領収日 6月29日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領 収 証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞※	1,887	1	1,887

※は軽減税率対象品目です。
(10%対象 0)
(8%対象 1,887)

販売店 堀 富明
住所 新潟市北区木崎2831-29
TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込No.

※領収書

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	10
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 7 月 1 日 ~ 7 月 31 日		
支出年月日	令和 4 年 7 月 22 日		
支出金額	0497 円		
支出先	日本共産党・新潟地区委員会		
使途内容	日刊「しんぶん赤旗」		
備考	第1紙 日本経済新聞		


領収書貼付欄

皆川 英二		様	
新聞・雑誌名	部数	金額	領収書
日刊「しんぶん赤旗」	* 1	3,497	3,497 円
		2022 年 7 月分	
		上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。	
		日本共産党新潟地区委員会 〒950-0086 新潟市中央区花園2-3-10 Tel.025-247-1346	
		*印は税率8%	
		領収日 7/22 投書	

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書貼付用紙

区域	読者番号	領収証		(4 年 7 月分)
皆川 英二 様				
(発行日)		(領収番号)		(担当)
4/ 7/27		2		
品名	部数	金額 (内消費税)		
日本経済新聞	1	4,000 (296)*		
ご愛読ありがとうございました。 下記の金額領収致しました。				
合計金額				
4,000 円				
(金額後の*印は軽減税率)8%合計 4,000円 税額 296円				
 Nippo Information Center NICアガノ 有限会社 LOBELO				新潟市北区区浜本町4-2-23 ☎ 259-2043
				所長印

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	11
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 7 月 1 日 ~ 7 / 1 日		
支出年月日	令和 4 年 7 月 27 日		
支出金額	3,400. 円		
支 出 先	(有) LOBELO		
使 途 内 容	新潟日報統合版		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域 読者番号

領収証

(4 年 7 月分)

皆 川 英 二 様

(発行日) (領収番号) (担 当)

4 / 7 / 27 1 []

品 名	部 数	金 額 (内消費税)
新潟日報統合版	1	3,400 (251) *

合計金額

3,400 円

ご愛読ありがとうございました。
下記の金額領収致しました。

(金額後の*印は軽減税率)8%合計 3,400円 税額 251円

所長印

Nippo
Information
Center

NICアガノ

有限
会社

LOBELO

新潟市北区松浜本町4-2-23
☎ 259-2043

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	12
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 5 月 1 日 ~ 5 / 10		
支出年月日	令和 4 年 5 月 29 日		
支出金額	1,887 円		
支出先	堀 富明		
使途内容	公明新聞		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領

領収証

新聞購読料

皆川 英二 様

ご購読ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2022年7月分 領収日 7月29日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞※	1,887	1	1,887

※は軽減税率対象品目です。

(10%対象
8%対象 1,887)

販売店 堀 富明
住所 新潟市北区木崎2-8-31-29
TEL 025-388-6214 FAX 025-388-624

お申込No.

※

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	13
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 8 月 1 日 ~ 8 月 19 日		
支出年月日	令和 4 年 8 月 19 日		
支出金額	0,497 円		
支出先	日本共産党・新潟地区委員会		
使途内容	日刊「しんぶん赤旗」		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

皆川 英二		様		日本共産党発行の しんぶん赤旗 領収書	
新聞・雑誌名	部数	金額	3,497 円		
日刊「しんぶん赤旗」	* 1	3,497	2022 年 8 月分		
		*印は税率8%	上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。 日本共産党新潟地区委員会 〒950-0086 新潟市中央区花園2-3-10 Tel.025-247-1346		
			領収日	8/19	投書

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書貼付用紙

区域 読者番号

領収証

(4 年 8 月分)

皆川 英二 様

(発行日) (領収番号) (担当)

4/ 8/29 2

銘柄名	部数	金額 (内消費税)
日本経済新聞	1	4,000(296)*

ご愛読ありがとうございました。
下記の金額領収致しました。

合計金額

4,000 円

(金額後の*印は軽減税率)8%合計 4,000円 税額 296円



所長印



Nippo
Information
Center

NICアガノ 有限
会社 LOBELO

新潟市北区松浜本町4-2-23
☎ 259-2043



支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	14
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 8 月 1 日 ~ 8 日		
支出年月日	令和 4 年 8 月 29 日		
支出金額	3,400. 円		
支 出 先	(有) LOBELO		
使 途 内 容	新潟日報統合版		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域 | 読者番号

領収証

(4 年 8 月分)

皆 川 英 二 様

(発行日) (領収番号) (担当)

4 / 8 / 29 1 XXXXXXXXXX

品 名	部 数	金 額 (内消費税)
新潟日報統合版	1	3,400 (251) *

合計金額

3,400 円

(金額後の*印は軽減税率)8%合計 3,400円 税額 251円

所長印

Nippo Information Center

NICアガノ

有限会社 LOBELO

新潟市北区松浜本町4-2-23

☎ 259-2043

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	15
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 2 月 1 日 ~ 2 / 日		
支出年月日	令和 4 年 2 月 10 日		
支出金額	1,887 円		
支出先	堀 富明		
使途内容	公明新聞		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書

新聞購読料 領収証

皆川 英二 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2022年8月分 領収日 2月20日
領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞※	1,887	1	1,887

※は軽減税率対象品目です。

(10%対象 0)
(8%対象 1,887)

販売店 堀 富明
住所 新潟市北区木崎2831-29
TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込No. 

※領収

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	16
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 9 月 1 日 ~ 9 月 30 日		
支出年月日	令和 4 年 9 月 21 日		
支出金額	0,497 円		
支出先	日本共産党・新潟地区委員会		
使途内容	日刊「しんぶん赤旗」		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

皆川 英二

様

日本共産党発行の
しんぶん赤旗

領 収 書

3,497 円

2022 年 9 月分

上記の金額たしかにいただきました。
ありがとうございました。
日本共産党新潟地区委員会
〒950-0086
新潟市中央区花園2-3-10
Tel.025-247-1346

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	* 1	3,497

*印は税率8%

領収日



9/21

署名

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書貼付用紙

区域	読者番号	領収証	(4 年 9 月分)
皆川 英二 様			
(発行日)	(領収番号)	(担当)	
4/ 9/27	2		
銘柄名	部数	金額(内消費税)	ご愛読ありがとうございました。 下記の金額領収致しました。
日本経済新聞	1	4,000(296)*	
			合計金額
			4,000 円
(金額後の*印は軽減税率)8%合計 4,000円 税額 296円			
			所長印
			
	Nippo Information Center	NICアガノ 有限会社 LOBELO	新潟市北区松浜本町4-2-23 ☎ 259-2043

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	17
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和4年 9月 1日 ~ 30日		
支出年月日	令和4年 9月 27日		
支出金額	3,400. 円		
支出先	(有) LOBELO		
使途内容	新潟日報統合版		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域

読者番号

領収証

(4年 9月分)

皆川 英二 様

(発行日) (領収番号) (担当)

4/ 9/27 1 []

銘柄名	部数	金額(内消費税)
新潟日報統合版	1	3,400(251)*


ご愛読ありがとうございました。
下記の金額領収致しました。

合計金額

3,400 円

(金額後の*印は軽減税率)8%合計 3,400円 税額 251円

所長印



Nippo Information Center

NICアガノ

有限会社 LOBELO

新潟市北区松浜本町4-2-23
☎ 259-2043

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票


会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	18
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 9 月 1 日 ~ 20 日		
支出年月日	令和 4 年 9 月 20 日		
支出金額	1,887 円		
支出先	堀 富明		
使途内容	公明新聞		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書

新聞購読料 領収証
皆川 英二 様
ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。
2022年9月分 領収日 9月20日
領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証
品名 公明新聞※ 定価(税込) 1,887 部数 1 金額 1,887
※は軽減税率対象品目です。(10%対象 (8%対象 1,887))

販売店 堀 富明
住所 新潟市北区木崎2831-29
TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241
お申込No. 

※領収書

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和4年度	整理番号 (項目別)	19
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 10 月 1 日 ~ 10 月 31 日		
支出年月日	令和 4 年 10 月 21 日		
支出金額	0497 円		
支 出 先	日本共産党・新潟地区委員会		
使 途 内 容	日刊「しんぶん赤旗」		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

皆川 英二	様	日本共産党発行の しんぶん赤旗 領 収 書
新聞・雑誌名 日刊「しんぶん赤旗」	* 部数 1	金額 3,497 円
		2022 年 10 月分
		上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。
		日本共産党新潟地区委員会 〒950-0086 新潟市中央区花園2-3-10 Tel.025-247-1346
	*印は税率8%	領 収 日 10/21 投 書

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書貼付用紙

区域 御客様コード 新元島町3953-10		領 収 証 (2022 年10 月分)	
皆川 英二 様			
(発行日)	(領収番号)	(スタッフ)	(領収日)
2022/10/27	000002		22年10月27日
品 名	部数	金 額	合 計 金 額
日本経済新聞	1 ※	4,000	4,000 円
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象 ご指定の口座より引き落とし致しました。			8 %対象 4,000 円 (内消費税 296) 0 %対象 (内消費税)
新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL.(025)278-7676			上記正に領収いたしました。 (株)新潟日報社 NIC 松浜

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	20
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 10 月 1 日 ~ 21 日		
支出年月日	令和 4 年 10 月 27 日		
支出金額	2,400 円		
支出先	(株)新潟日報サポト NIC松浜		
使途内容	新潟日報統合版		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域 御寄帳コード 領 収 証 (2022 年10 月分)

新元島町3953-10

皆川 英二 様

(発行日) (領収番号) (スタッフ) (領収日)
 2022/10/27 000001 [] 2022年10月27日

品 名	部 数	金 額	合 計 金 額
新潟日報統合版	1	3,400	3,400 円

8 %対象 3,400 円 (内消費税 251)
0 %対象 円 (内消費税)

登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象 上記正に領収いたしました。
ご指定の口座より引き落とし致しました。

新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL.(025)278-7676 (株)新潟日報サポト NIC松浜

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	21
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4年 10月 1日 ~ 10/1日		
支出年月日	令和 4年 10月 28日		
支出金額	1,887 円		
支出先	堀 富明		
使途内容	公明新聞		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書

新聞購読料 領収証

皆川 英二様

ご購入ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2022年10月分 領収日 10月28日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞※	1,887	1	1,887

※は軽減税率対象品目です。

(10%対象
(8%対象 1,887)

販売店 堀 富明
住所 新潟市北区木崎2831-29
TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込No.

※領収

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	22
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 11 月 17 日 ~ 11 月 30 日		
支出年月日	令和 4 年 11 月 21 日		
支出金額	3,497 円		
支 出 先	日本共産党・新潟地区委員会		
使 途 内 容	日刊「しんぶん赤旗」		
備 考	第1紙 日本経済新聞		
領収書貼付欄			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>皆川 英二</p> <p>新聞・雑誌名 日刊「しんぶん赤旗」</p> </div> <div> <p>部数 金額</p> <p>* 1 3,497</p> <p>*印は税率8%</p> </div> <div> <p>日本共産党発行の しんぶん赤旗</p> <p>領 収 書</p> <p>3,497 円</p> <p>2022 年 11 月 分</p> <p>上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。 日本共産党新潟地区委員会 〒950-0086 新潟市中央区花園2-3-10 Tel.025-247-1346</p> <p>領収日 11/21</p> </div> </div> </div>			

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領 収 書 貼 付 用 紙

区域 御客様コード 新元島町3953-10		領 収 証 (2022 年11 月分)	
皆川 英二 様			
(発行日)	(領収番号)	(スタッフ)	(領収日)
2022 年 / 月 / 日	000002		年 / 月 / 日
品 名	部 数	金 額	合 計 金 額
日本経済新聞	1 ※	4,000	4,000 円
			8 %対象 4,000 円 (内消費税 296)
			0 %対象 円 (内消費税)
登録番号 T9110002005069		※は軽減税率対象	上記正に領収いたしました。
新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL.(025)278-7676		(株)新潟日報社 NIC 松浜	

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	23
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 11 月 1 日 ~ 20 日		
支出年月日	令和 4 年 11 月 27 日		
支出金額	0,400 円		
支出先	(株)新潟日報サポト NIC 松浜		
使途内容	新潟日報統合版		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域 御客機コード

新元島町3953-10

領 収 証 (2022 年11 月分)

皆川 英二 様

(発行日) 2022 年 11 月 27 日 (領収番号) 000001 (スタッフ) (領収日) 2022 年 11 月 27 日

銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額
新潟日報統合版	1 ※	3,400	3,400 円
			8 %対象 3,400 円 (内消費税 251)
			0 %対象 円 (内消費税)

登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象 上記正に領収いたしました。

新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL.(025)278-7676

(株)新潟日報サポト NIC 松浜

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	24
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 11 月 1 日 ~ 30 日		
支出年月日	令和 4 年 11 月 29 日		
支出金額	1,887 円		
支出先	堀 富明		
使途内容	公明新聞		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書

新聞購読料 領収証

皆川 英二 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2022年11月分 領収日 11月29日
領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞※	1,887	1	1,887

※は軽減税率対象品目です。(10%対象 0)
(8%対象 1,887)

販売店 堀 富明
住所 新潟市北区木崎 2 8 3 1 - 2 9
TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込No. 

※領収

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	25
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 12 月 1 日 ~ 12 月 21 日		
支出年月日	令和 4 年 12 月 21 日		
支出金額	0497 円		
支出先	日本共産党 新潟地区委員会		
使途内容	日刊「しんぶん赤旗」		
備考	第1紙 日本経済新聞		
領収書貼付欄			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>皆川 英二</p> <p>新聞・雑誌名 日刊「しんぶん赤旗」</p> <p>部数 * 1</p> <p>金額 3,497</p> <p>*印は税率8%</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>様</p> <p>領収書</p> <p>3,497 円</p> <p>2022 年 12 月分</p> <p>上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。 日本共産党新潟地区委員会 〒950-0086 新潟市中央区花園2-3-10 TEL025-247-1346</p> <p>領収日 12/21 投者 XXXXXXXXXX</p> </div> </div> </div>			

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書貼付用紙

区域 御客様コード		領 収 証		2022 年 2 月 分	
新元島町3953-10					
皆川 英二 様					
(発行日)		(領収番号)		(スタッフ)	
2022/12/27		000002		[REDACTED]	
(領収日) 年 / 月 / 日					
領 収 名			部 数	金 額	合 計 金 額
日本経済新聞			1 ※	4,000	4,000 円
					8 %対象 4,000 円 (内消費税296)
					10 %対象 円 (内消費税)
登録番号 T9110002005069			※は軽減税率対象		上記正に領収いたしました。
新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL.(025)278-7676			(株)新潟日報社		NIC 松浜

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和4年度	整理番号 (項目別)	26
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 12 月 / 日 ~ 2 / 日		
支出年月日	令和 4 年 12 月 27 日		
支出金額	3,400 円		
支出先	(株)新潟日報サポト NIC松浜		
使途内容	新潟日報統合版		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域 御座機コード 領 収 証 2022 年 12 月分)

新元島町3953-10

皆川 英二 様

(発行日) (領収番号) (スタッフ) (領収日)
 2022/12/27 000001 2022年12月27日

品 名	部数	金 額	合 計 金 額
新潟日報統合版	1	3,400	3,400 円
			8 %対象 3,400 円 (内消費税251)
			10 %対象 円 (内消費税)

登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象 上記正に領収いたしました。

新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL.(025)278-7676 (株)新潟日報サポト NIC松浜

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	27
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 4 年 12 月 1 日 ~ 21 日		
支出年月日	令和 4 年 12 月 27 日		
支出金額	1,887 円		
支出先	堀 富明		
使途内容	公明新聞		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書

新聞購読料 領収証

皆川 英二様

ご購入ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2022年12月分

領収日 2022年12月27日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞※	1,887	1	1,887

※は軽減税率対象品目です。

(10%対象
(8%対象 1,887)

販売店 堀 富明
 新潟県新潟市北区木崎 2831-29
 住所 TEL 025-388-6214 FAX 025-388-624

お申込No.

※領収:

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	28
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 5 年 1 月 1 日 ~ 1 月 31 日		
支出年月日	令和 5 年 1 月 20 日		
支出金額	0,497 円		
支出先	日本共産党・新潟地区委員会		
使途内容	日刊「しんぶん赤旗」		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

皆川 英二		様	日本共産党発行の しんぶん赤旗 領収書
新聞・雑誌名	部数	金額	3,497 円
日刊「しんぶん赤旗」	* 1	3,497	2023 年 1 月分
		*印は税率8%	上記の金額たしがにいただきました。 ありがとうございました。 日本共産党新潟地区委員会 〒950-0086 新潟市中央区花園2-3-10 Tel.025-247-1346
		領収日	1/20 投書

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書貼付用紙

[区域] [御客様コード]		領 収 証		(2023 年01 月分)	
新元島町3953-10					
皆川 英二 様					
(発行日)		(領収番号)		(スタッフ)	
2023/01/27		000002		[]	
(領収日)		[]年 []月 []日			
品名		部数		金額	
日本経済新聞		1 ※		4,000	
合計金額		4,000 円			
8 %対象		4,000 円			
(内消費税 296)					
10 %対象		円			
(内消費税)					
登録番号 T9110002005069		※は軽減税率対象		上記正に領収いたしました。	
新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL.(025)278-7676		(株)新潟日報社 NIC松浜			

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二								
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	29								
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費										
実施年月日	令和 5 年 / 月 / 日 ~ 日										
支出年月日	令和 5 年 / 月 27 日										
支出金額	3,400 円										
支出先	(株)新潟日報サポート NIC松浜										
使途内容	新潟日報統合版										
備 考	第1紙 日本経済新聞										
領収書貼付欄											
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 区域 御客機コード 領 収 証 (2023 年01 月分) </div> <p>新元島町3953-10</p> <h3 style="text-align: center;">皆川 英二 様</h3> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>(発行日) 2023/01/27</p> <p>(領収番号) 000001</p> </div> <div> <p>(スタッフ)</p> </div> <div> <p>(領収日) 2023年 / 月 27 日</p> </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">品 名</th> <th style="width: 10%;">部数</th> <th style="width: 10%;">金額</th> <th style="width: 20%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新潟日報統合版</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;">※ 3,400</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div> <p>登録番号 T9110002005069</p> <p>※は軽減税率対象</p> <p>新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL.(025)278-7676</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>合計金額</p> <p style="font-size: 1.5em;">3,400 円</p> <p>8 %対象 3,400 円 (内消費税 251)</p> <p>10 %対象 円 (内消費税)</p> </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">上記正に領収いたしました。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>(株)新潟日報サポート NIC松浜</p> </div> </div>				品 名	部数	金額		新潟日報統合版	1	※ 3,400	
品 名	部数	金額									
新潟日報統合版	1	※ 3,400									

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	30
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 5 年 1 月 1 日 ~ 31 日		
支出年月日	令和 5 年 1 月 30 日		
支出金額	1,887 円		
支出先	堀 富明		
使途内容	公明新聞		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書

新聞購読料 領収証

皆川 英二 様

ご購入ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2023年11月分

領収日 11月30日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞※	1,887	1	1,887

※は軽減税率対象品目です。

(10%対象
(8%対象 1,887)

販売店 堀 富明
 住所 新潟市北区木崎2831-29
 TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込No. 

※領収書

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	31
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 5 年 2 月 1 日 ~ 2月28日		
支出年月日	令和 5 年 2 月 21日		
支出金額	0,497 円		
支 出 先	日本共産党 新潟地区委員会		
使 途 内 容	日刊「しんぶん赤旗」		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">皆川 英二</p> <p style="text-align: right; margin: 0;">様</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%; border: none;">新聞・雑誌名</td> <td style="width: 10%; border: none;">部数</td> <td style="width: 30%; border: none;">金額</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">日刊「しんぶん赤旗」</td> <td style="border: none;">* 1</td> <td style="border: none;">3,497</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">*印は税率8%</p>	新聞・雑誌名	部数	金額	日刊「しんぶん赤旗」	* 1	3,497	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">日本共産党発行の</p> <h3 style="margin: 0;">しんぶん赤旗</h3> <p style="margin: 0;">領 収 書</p> </div> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em; margin: 0;">3,497 円</p> <p style="text-align: center; margin: 5px 0;">2023 年 2 月分</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">日本共産党新潟地区委員会 〒950-0086 新潟市中央区花園2-3-10 TEL025-247-1346</p> <p style="margin: 0;">領収日 2/21 投書 [REDACTED]</p>
新聞・雑誌名	部数	金額					
日刊「しんぶん赤旗」	* 1	3,497					

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書貼付用紙

区域 御客様コード		領 収 証 (2023 年02 月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(発行日)	(領収番号)	(スタッフ)	(領収日)
2023/02/27	000002		2023年 2月 27日
品名	部数	金額	合計金額
日本経済新聞	1 ※	4,000	4,000 円
			8 %対象 4,000 円 (内消費税 296)
			10 %対象 (内消費税)
登録番号 T9110002005069		※は軽減税率対象	上記正に領収いたしました。
新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL.(025)278-7676		株式会社 新潟日報社 NIC 松浜	

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	32
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 5 年 2 月 1 日 ~ 28 日		
支出年月日	令和 5 年 2 月 27 日		
支出金額	0,400 円		
支出先	(株)新潟日報サポート NIC松浜		
使途内容	新潟日報統合版		
備 考	第1紙 日本経済新聞		
領収書貼付欄			

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	33
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 5 年 2 月 1 日 ~ 28 日		
支出年月日	令和 5 年 2 月 28 日		
支出金額	1,887 円		
支出先	堀 富明		
使途内容	公明新聞		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書

新聞購読料 領収証
 皆川 英二 様
 ご購読ありがとうございます。
 下記金額を正に領収いたしました。
 2023年2月分
 領収日 2月28日
 領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞※	1,887	1	1,887

※は軽減税率対象品目です。
 (10%対象 0)
 (8%対象 1,887)

販売店 堀 富明
 住所 新潟市北区木崎2831-29
 TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込No.

※領収書

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	39
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 5 年 0 月 1 日 ~ 0 月 2 1 日		
支出年月日	令和 6 年 0 月 20 日		
支出金額	0,497 円		
支出先	日本共産党・新潟地区委員会		
使途内容	日刊「しんぶん赤旗」		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

皆川 英二		様	日本共産党発行の しんぶん赤旗 領収書	
新聞・雑誌名	部数	金額	3,497 円	
日刊「しんぶん赤旗」	* 1	3,497	2023 年 3 月分	
*印は税率8%			上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございます。 日本共産党新潟地区委員会 〒950-0086 新潟市中央区花園2-3-10 Tel.025-247-1346	
		領収日	3/20	投書

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書貼付用紙

区域 御客様コード 領収証 (2023年03月分)
新元島町3953-10

皆川 英二 様

(発行日) 2023/03/27 (領収番号) 000002 (スタッフ) (領収日) 年 月 日

銘柄名	部数	金額
日本経済新聞	1 ※	4,000

合計金額 4,000円
8%対象 4,000円 (内消費税 296円)
10%対象 (内消費税)

登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象 上記正に領収いたしました。

新潟日報社 (株) 新潟日報社
NIC 松浜

新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL.(025)278-7676

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	35
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 5 年 0 月 1 日 ~ 21		
支出年月日	令和 5 年 0 月 23 日		
支出金額	0,400 円		
支出先	(株)新潟日報サポート NIC松浜		
使途内容	新潟日報統合版		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域 御客様コード

領 収 証 (2023年03月分)

新元島町3953-10

皆川 英二 様

(発行日) 2023/03/27	(領収番号) 000001	(スタッフ)	(領収日) 5年0月27日
---------------------	------------------	--------	------------------

品 名	部 数	金 額
新潟日報統合版	1	※ 3,400

合計金額

3,400円

8%対象 3,400円
(内消費税 251)

10%対象 (内消費税)

登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象 上記正に領収いたしました。

新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL.(025)278-7676

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会派名	翔政会	議員名	皆川 英二
支出年度	令和4年度	整理番号 (項目別)	36
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和 5 年 0 月 1 日 ~ 0 日		
支出年月日	令和 5 年 0 月 10 日		
支出金額	1,887 円		
支出先	堀 富明		
使途内容	公明新聞		
備考	第1紙 日本経済新聞		

領収書

新聞購読料 領収証

皆川 英二 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2023年3月分 領収日 0 月 0 日
領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞※	1,887	1	1,887

※は軽減税率対象品目です。

(10%対象 0)
(8%対象 1,887)

販売店 堀 富明
住所 新潟市北区木崎2831-29
TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込No.

※領収書及び

備考欄には按分率等を記入してください。